



宮前中だより

さいたま市立宮前中学校
学校通信 No. 5
平成30年 8月28日(火)

さいたま市西区宮前町1467-1 Tel 623-7381 e-mail: miyamae-j@saitama-city.ed.jp

地域の生徒の活躍

校長 大木 克己

長い夏休みも終わり、久しぶりに全校生徒が顔を合わせた2学期始業式。再び生徒の弾ける笑顔が学校に戻ってきました。2学期も生徒にとって充実した学校生活を送れるように、職員一同全力で校務に邁進してまいります。引き続き、ご理解・ご協力お願いいたします。

私の夏休みは「宮友会（宮前中PTAのOB会）」の旅行に始まり、各部の大会・コンクール・発表会の応援、日進七夕まつりなどで、大変充実した毎日を過ごすことができました。生徒たちが大会等で活躍する姿を見ることは嬉しいものですが、地域で生き生きと活躍する生徒の姿を見られることも、この上ない感動があります。8月6、7日の二日間で開催された日進七夕まつりでは、本校の生徒がお囃子の太鼓をたたいたり、踊ったり、お店の手伝いをしたりと活躍する姿を見ました。この七夕まつりは今年で47回を数え、本校よりも長い歴史があります。地域が伝統として守ってきた行事に参加し、活躍する生徒の姿は感動的でした。また、お囃子に合わせて踊っていた2年生の男子は、誰に踊りを教わることもなく自分で考えた踊りを披露し、道行く人々を引き付けていたことに更に驚きました。日進七夕まつりの実行委員会も高齢化が進んでいるようで、地域の若者が大人になって仲間入りをすることを期待されていました。

「地域の生徒の活躍」でこの夏に話題となったのは、第100回全国高等学校野球選手権大会で準優勝した秋田県立金足農業高等学校野球部選手たちの活躍です。決勝戦では惜しくも大阪桐蔭高等学校に大差で敗れてしまい、東北県勢初の優勝とはなりませんでしたが、金足農業の選手たちのひたむきなプレーが感動を呼びました。また、勝ち上がり後の全力で歌う校歌も素晴らしいものでした。埼玉県民としては昨年優勝した花咲徳栄高等学校や浦和学院高等学校を応援していましたが、途中敗退してしまい残念でした。新聞、ニュース等でも連日報道されていたように、金足農業高校野球部員は登録メンバー全員が県内中学校の出身であり、また高校から硬式野球を始める選手も多く、今大会大活躍の吉田投手も中学校では、軟式野球部に所属していたそうです。高校で開催される「農業祭」では、学校で収穫した作物を地元住民に安く提供するなど、正に地域の学校であるようです。それだからこそ、甲子園球場の応援席や地元秋田でも「地域の生徒」を応援する熱意を感じました。スポーツ界に暗いニュースが多かった今年の夏でしたが、彼らの活躍は地域の人々ばかりでなく、我々多くの観衆にもたくさんの感動を与えてくれました。宮前中も地域に貢献し、地域から愛される学校にしていこうと再確認をした夏休みでした。

さて、新学期のスタートです。2学期もたくさんの学校行事がありますが、3年生は進路決定に向けて、1・2年生は学校の中心となり学習・部活動等に決意新たに活躍することを期待します。まずは、1か月後の新人体育大会での健闘を祈ります。

